

次期文化振興計画策定に向けた論点整理（たたき台）【府施策の方向性・役割】

	第4次大阪府文化振興計画	第5次大阪府文化振興計画（案）		
施策の方向性	A「文化創造の基盤づくり」	A「文化に触れる環境づくり」 あらゆる人々が文化芸術を鑑賞、参加、創造できるような環境の整備などに取り組む		
	① 芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実	鑑賞機会等の環境の整備	委員意見	・子ども、高齢者、障がい者、外国人等、あらゆる人々が鑑賞、参加、創造できる機会の充実 ・アウトリーチやワークショップ等、体験機会の充実
	② 将来の社会の担い手となる青少年の育成	次世代の育成、文化芸術教育の充実		・青少年等、次世代の担い手の育成・支援、教育機関との連携 ・歴史や伝統、文化芸術に対する理解促進、鑑賞・体験機会の充実
	③ 芸術文化拠点の充実と府民意識の醸成等	文化芸術を通じた共生社会やSDGsの実現	社会情勢	・障がい者や外国人にかかるバリアフリー化（字幕、手話通訳、音声ガイド等）の促進 ・相談、支援体制の確立
		文化資源の保存、継承、活用		・文化資源のアーカイブ化、情報の共有 ・教育・研究分野など、幅広い分野での利活用
		文化芸術を支え、育てる府民意識の醸成		・みんなで文化芸術を支え、育てる意識や寄附文化の醸成、普及啓発
		関連分野の施策との有機的な連携		・文化芸術と他分野が連携した施策の推進、文化関係施設と学校、社会教育施設、福祉施設、医療機関等との連携促進 ・部局横断型のネットワークの構築
	B「都市のための文化」	B「文化がまちを彩る」 大阪文化の活用、国内外への発信、他文化との交流促進などを通じて、大阪の魅力向上、ブランディングに取り組む		
	① 大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信	多彩な大阪文化の魅力を活用したブランド力の向上		・大阪が誇る上方伝統芸能や上方演芸を活用した魅力発信（文フェス、ワッハ） ・百舌鳥・古市古墳群、太陽の塔、大阪ミュージアム、大阪産（もん）、食文化、日本遺産（竹内街道等） ・文化芸術活動や文化資源保存活用施設などを活用した観光推進、都市魅力や都市格の向上、経済の活性化 ・府内全域を活用した文化事業推進
	② 大阪のブランド力を活用した都市の魅力向上と新たな文化の創造	大阪・関西万博を契機とする新たな文化の創造、発信	社会情勢	・万博のインパクトを活かした新たな文化芸術の創造、国内外への発信
	③ 大阪府内全域を活用した文化事業の推進	国際文化の交流、多文化理解の促進	社会情勢	・インバウンドに対する文化施策の推進、多言語化、専門人材の育成 ・異文化理解、多文化交流の促進、国際的イベント（ワールドマスタースゲームズ等）との連携
		最先端技術の活用による新たな文化の創造	社会情勢	・A I、V R、A Rなどの最先端技術を取り入れた新しい文化芸術の創造 ・「新しい生活様式」などを踏まえた、インターネットによる動画配信などのI C T技術を活用した施策展開
		関連分野の施策との有機的な連携（再掲）		・文化芸術と他分野が連携した施策の推進、文化関係施設と学校、社会教育施設、福祉施設、医療機関等との連携促進 ・部局横断型のネットワークの構築
	C「社会のための文化」	C「文化が社会を形成する」 人材の育成・支援、文化関係施設や団体等の連携・ネットワーク化などを通じて、持続可能な地域文化の振興、社会的価値の醸成に取り組む		
	① 教育、福祉、まちづくり等のあらゆる施策分野への活用	文化芸術を創造し、支える人材の育成・支援		・芸術文化の担い手（アーティスト等）や、芸術文化を支える人材（アートマネジメント人材、舞台技術者、学芸員、継承者等）の育成・支援 ・文化芸術活動に対する顕彰等の促進
	② 文化関係機関等の連携強化	文化芸術拠点の充実	委員意見	・enocoの機能強化 ・劇場、音楽堂等、芸術文化の創造、活動拠点の充実
③ スポーツとの連携による地域活性化	府内市町村等との連携、支援、文化関係施設のネットワーク化	委員意見	・府内市町村や文化財団等との連携、支援（情報の共有・発信、ネットワークづくり等）、文化行政を担う人材の育成や体制の充実 ・府立をはじめとした公立文化関係施設等のネットワーク化、連携強化	
	文化芸術を通じた共生社会やSDGsの実現（再掲）	社会情勢	・障がい者や外国人にかかるバリアフリー化（字幕、手話通訳、音声ガイド等）の促進 ・相談、支援体制の確立	
	関連分野の施策との有機的な連携（再掲）		・文化芸術と他分野が連携した施策の推進、文化関係施設と学校、社会教育施設、福祉施設、医療機関等との連携促進 ・部局横断型のネットワークの構築	
行政（府）の役割	<活動の基本領域> ○文化創造の基盤づくりや地域課題の改善・解決等の領域を中心に担う	○民間の自主性・創造性を尊重し、行政がサポート		
	<文化行政の視点> ○府民の活動のサポート、他分野への活用、公共空間を活用したプロジェクト等の展開	○あらゆる人々が文化芸術に触れられるような環境の整備		
	<広域自治体としての役割> ○府内市町村等への情報提供やアドバイス、広域自治体としての総合調整	○広域自治体としての役割を強化	社会情勢 委員意見	・国内外への発信、万博のインパクトを活かした新たな文化芸術の創造 ・市町村等連携（人材育成、情報の共有・発信、ネットワークづくりなど）、条例制定や計画策定、審議会設置の促進 ・他分野連携のロールモデル、先導的な取組の実施